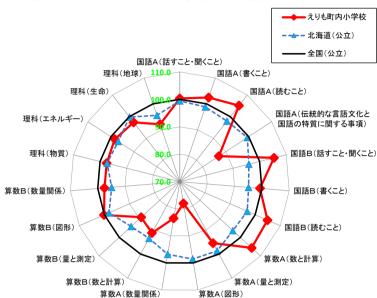
■えりも町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、児童数:45人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の全国との差の推移】



※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

10.0

15.0

▲ 20 0

25.0

【児童質問紙調査】

算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書 いていますか えりも町 77.8 13.3 110 56 1 29 2 3 6 全道 全国 56.8 29 0 10.5 100% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% ■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない 口当てはまらない

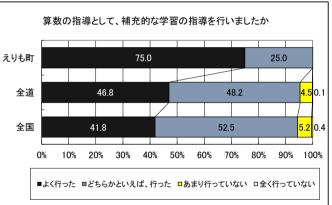
【学校質問紙調査】

▲ 10.0

▲ 20 0

▲ 25.0

15.0



【分析】

		国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」で全国を上回っている。
教 科		算数Aでは、「数と計算」、Bでは、「図形」で全国を 上回っている。
	_	理科では、「物質」「エネルギー」で全道を上回って いる。
児童質問紙	•	「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	:	「算数の指導として、補充的な学習の指導をよく 行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道 を上回っている。

- 算数の指導として、補充的な学習の指導を行い、個に応じた指導の充実を図った。また、板書構造を工夫し、板書と関連付けたノート指導の充実により、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
- 全ての小学校で、えりも町授業改善4つの方策を踏まえ、ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導するなど、授業改善を推進したことにより、国語の5領域及び算数の2領域で全国を上回ったと考えられる。

【えりも町の学力向上策】

- ◎ えりも町授業改善の方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- ◎ 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- ◎ 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- ◎ 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- ◎ 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実

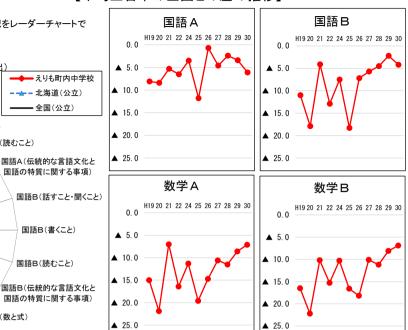
■えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:35人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで 示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出) - えりも町内中学校 ★ - 北海道(公立) 全国(公立) 国語A(話すこと・聞くこと) 理科(地学的領域) 110.0 国語A(書くこと) 理科(生物的領域) 国語A(読むこと) 国語A(伝統的な言語文化と 理科(化学的領域) 国語の特質に関する事項) 理科(物理的領域) 国語B(話すこと・聞くこと) 数学B(資料の活用) 国語R(書くこと) 数学B(関数) 国語B(読むこと)

【平均正答率の全国との差の推移】



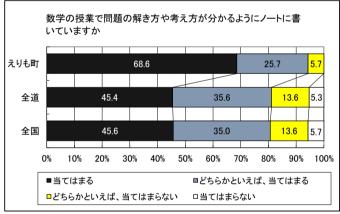
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】

数学B(図形)

数学B(数と式)

数学A(資料の活用)

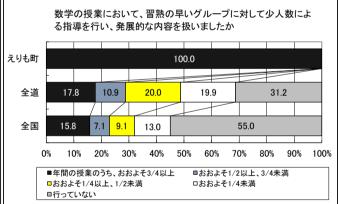


数学A(関数)

【学校質問紙調査】

国語の特質に関する事項)

数学A(数と式)



【分析】

-	教 科	○ 国語Bでは、「読むこと」で全道を上回っている。○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。○ 理科では、「地学的領域」で全国に最も近くなっている。	ľ	数学の授業において、習熟の程度に応じて 少人数による指導を行い、発展的な内容も 扱った。また、板書構造を工夫し、板書と関連 付けたノート指導の充実により、「数学の授業 で問題の解き方や考え方が分かるようにノー
	生徒質問紙	○ 「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。		トに書いている」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。 町の学力向上策として、全国学力・学習状況
	学校質問紙	○ 数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った。		調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善を進めたことにより、数学A・Bにおいて、全国の平均正答率との差が縮まるとともに、国語Bの「読むこと」で全道を上回ったと考えられる。

【えりも町の学力向上策】

- えりも町授業改善の方策(学習規律の確立、板書とノートの連動、まとめの位置付け、家庭学習の習慣化)による授業改善
- 全国学力・学習状況調査の分析を踏まえたPDCAサイクルに基づく授業改善
- 「続・凡事徹底」による数値目標を形骸化しない日常の授業における指導の充実
- 実物投影機等ICT機器の日常的な活用による授業改善
- 小・中・高の連携・接続を意識したキャリア教育の充実